

## 魅力ある講座の実践紹介！

VOL. 7  
青森市

### 「19年目を迎える門松作り」

今回は、地域住民の声を大切にしながら、今年度で開催19年目を迎える「門松作り」などの公民館事業を精力的に展開している、青森市浪岡大杉公民館の取り組みについて、管理責任者の天内忠治さん、職員のみなさんから話を伺ってきました。



#### 立派な門松ができあがります！

浪岡大杉公民館は、平成29年に開館40周年の節目を迎え、記念式典を開催するとともに、記念誌と寄稿集を発行しました。

開館42周年を迎える今年度は、奉仕活動、高齢者教育、女性教育、青少年事業、地域づくり、成人教育の6項目のバランスを考えながら事業を計画し、活動に全力で取り組んでいます。

それらの事業の中でも一番長く続いているのが、今年度で開催19年目を迎える「門松作り」です。毎年12月に講師の方をお招きして、お正月に向けて門松作りに取り組み、下の写真のような立派な門松を作ります。今年度は12月22日に実施する予定です。

実際に参加した方からは、「自宅の玄関に飾ると、できばえがよくとても満足でした。」「飾っているのを見た人から、どこで買ってきたの？と聞かれてうれしかったです。」など、喜びの声が上がっています。

作業場所の関係で、15～16人限定での募集となっていますが、毎年、定員に達しています。最近では、大杉地区からだけでなく、青森市内の別地区から参加する方もいます。

事情があってこの門松作りが開催されなかった年がありましたが、地域の方の「今年はやらないの？」という声を聞いて、毎年開催することを決意しました。

材料は、杉を多く使いますが、毎年地域の方が提供してくれるので大変助かっています。

大杉地区の冬場は、門松作りやしめ縄作り教室、50～60人が集う「ゴニカン」トランプ大会などで、多くの方が公民館を訪れ大変賑やかになります。



#### 地域住民の声を大切にしながら

浪岡大杉公民館の職員のみなさんは、「門松作り」はもちろんのこと「健康教室」などの講座に地域の方々が参加し、公民館に足を運んでくれることに感謝の気持ちを持っています。

その思いから、事業や講座の内容を計画するときには、参加してくださる方々の要望に少しでも応えていきたいと考えています。

そこで、公民館に足を運んでくださる地域の方との雑談や何気ないコミュニケーションの中から「こんなことをしてほしい。」「こんな話を聞きたい。」という生の声を聞いて、今年度の「健康教室」の講師に、整形外科の先生をお招きしたとのことでした。

また、今後は、地域の若い世代にも、公民館の講座に興味を持ってもらい、もっと足を運んでもらいたいと考えています。

#### 出張講座や子供たちとの交流

浪岡大杉公民館では、近隣の杉高児童館などで出張講座を行っています。出張講座では、講師の方をお招きして津軽弁の昔話や津軽弁のクイズ、カルタなどで子供たちを楽しませています。

また、大栄小学校のPTA主催の夏祭りにも参加し交流を深めています。子供たちは職員のみなさんとも顔なじみとなり、多くの子供たちが気さくに話しかけてくれるそうです。

【編集後記】42年という長い歴史をもつ大杉公民館を取材させていただきました。地域住民の声を大切にしながら、事業に全力で取り組んでいるという職員のみなさんのお話が印象的で、地域とともに歩んでいこうとする思いと熱意を感じました。(TN)



《青森県総合社会教育センターシンボルマーク》

人づくりの拠点として、県民の生涯にわたる学習の輪が、和を持って限りなく広がっていくことを願いとしています。家庭、学校、地域社会が一体となる姿を表現するとともに、色を緑色とし、伸びゆく緑豊かな青森県を表しています。